

第 4 学 年 社 会 科 学 習 指 導 計 画

4 年 1 組 指 導 者 原 田 圭 介

2 7 M (9 時 間) が本時

学 習 活 動	子 ど も の 意 識
第 1 次 瑠璃光寺五重塔についての気付きや疑問、調べたことを交流する 6M (2 時 間) + 家 庭 学 習	
学 習 内 容 ・文化財や国宝についての知識 (知) ・瑠璃光寺五重塔についての主体的な調査活動 (態)	
<input type="checkbox"/> 瑠璃光寺五重塔についての気付きや疑問を交流する (3 M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日から文化財について学習するのだね。文化財とは何だろう。聞いたことはあるけれど、よくわからないな。「法律によって指定された、大切にしたい歴史的建物」のことを文化財、その中でも特に価値が高いものを重要文化財、最も価値の高いものを国宝というのか。「国宝」とは日本の宝のことなのだね。山口県に国宝はあるのかな。「きょうど山口」には、瑠璃光寺五重塔は国宝であり、五重塔の中でも価値の高い三名塔のひとつだと書いてあるよ。すごいな。今まで知らなかった。瑠璃光寺五重塔についてもっと調べてみたいな。
瑠璃光寺五重塔について、本やインターネット、聞き取りなどで調査する【家庭学習】	
<input type="checkbox"/> 瑠璃光寺五重塔について調べてきたことを交流する (3 M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瑠璃光寺五重塔について調べてきたぞ。瑠璃光寺五重塔は、山口市の香山町にあるのだね。地図で確認してみよう。瑠璃光寺五重塔は約 580 年前に建てられたのだから。今でも残っているなんてすごいな。そんな昔の建物が、どうして今でも残っているのかな。瑠璃光寺五重塔は大内氏という殿様のお墓だと本に書いてあったよ。知らなかったな。でも、どうして五重塔がお墓なのだろう。調べてきたけれど、よく分からないこともあるね。実際に瑠璃光寺五重塔へ見学に行くと分かるのではないかな。みんなで瑠璃光寺五重塔に行ってみようよ。
第 2 次 瑠璃光寺五重塔と自分たちとの関わり方について考える 18M (6 時 間)	
学 習 内 容 ・瑠璃光寺五重塔の保存や継承の取組 (知) ・瑠璃光寺五重塔と自分たちとの関わり方 (思)	
<input type="checkbox"/> 瑠璃光寺五重塔を見学し、保存や継承の取組について考える (6 M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瑠璃光寺五重塔に来たよ。写真では見たことがあるけれど、本物は初めて見たよ。迫力があるし、見ていて何だか落ち着くな。さすがに古そうな感じもするよ。檜の皮で作った屋根もきれいだね。あ、緑色のジャンパーを着た人たちがいる。「きょうど山口」に載っていた観光ボランティアの人たちだ。話を聞いてみようよ。「瑠璃光寺五重塔は、大内氏の菩提として建てられた」のだから。菩提とはお墓のことなのか。調べたことと同じだ。瑠璃光寺五重塔が今も残っているのは、残すための取組をしている人たちのおかげなのだから。昔、瑠璃光寺五重塔が萩市に移されそうになったときに、山口市民が反対して食い止めたお話も聞かせてくれたよ。瑠璃光寺五重塔は昔から山口市民から大切にされてきたのだから。観光ボランティアの人たちは、「瑠璃光寺五重塔のすばらしさを多くの人に知ってもらうことで、瑠璃光寺五重塔を残していきたいと考える人を増やしたい」のだから。よし、たくさん情報が集まったぞ。みんなはどんなことを調べたのか聞いてみたいな。
<input type="checkbox"/> 瑠璃光寺五重塔の保存や継承の取組について、見学での気付きや疑問を交流する (3 M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瑠璃光寺五重塔について、たくさん調べてきたぞ。瑠璃光寺五重塔を残すための取組をしている人たちがあると観光ボランティアさんから聞いたよ。数年ごとに屋根の葺き替えをする檜皮葺職人さん、瑠璃光寺五重塔の管理者である瑠璃光寺の住職さん、文化財を守る仕事をしている市役所の人たちが中心になって瑠璃光寺五重塔を残す取組をしているそう

<p>□瑠璃光寺五重塔の保存や継承の取組について、文化財保護課の人から話を聞く (3M)</p> <p>□瑠璃光寺五重塔を見学し、保存や継承の取組について考える (6M)</p> <p>□瑠璃光寺五重塔と自分たちとの関わり方について考える (3M)</p>	<p>だよ。どのような取組をしているのかな。「きょうど山口」には市役所の文化財保護課というところが載っているみたいだよ。まずは、市役所の文化財保護課の人にどのような取組をしているのか聞いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護課の河崎さんからお話を聞くよ。文化財保護課は、瑠璃光寺五重塔を含め、いろいろな文化財を守り、未来に残す取組をしているのだった。河崎さんは、「文化財を残していくために、文化財のすばらしさを多くの人に知ってもらいたい」と話しているよ。観光ボランティアさんの願いと同じだ。檜皮葺職人さんや、瑠璃光寺の住職さんの願いも同じなのかな。2人はどのような取組をしているのか知りたいな。もう一度瑠璃光寺五重塔へ行って、2人にお話を聞いてみよう。 檜皮葺職人の佐々木さんと瑠璃光寺の住職の渡邊さんにお話を聞くよ。佐々木さんは、薄い檜の皮を葺く檜皮葺という技術を見せてくれたよ。すごいな。檜皮葺というのは、日本の伝統的な技術なのだった。佐々木さんは「瑠璃光寺五重塔には樹齢70年以上の檜しか使えない。その檜が少なくなっているため、瑠璃光寺五重塔を残すことは難しい。でも、瑠璃光寺五重塔は山口市民の大切な宝だから、ずっと残していきたい。残していくことは難しいことだけれども、みんなが残していきたいという願いをもつことが大切なのだ」と話しているよ。瑠璃光寺五重塔を何とかして残していきたいね。住職の渡邊さんは瑠璃光寺五重塔の管理をしているのだね。瑠璃光寺五重塔を残すことは、お金がたくさんかかるのだった。お金は誰が払うのかな。渡邊さんは「瑠璃光寺五重塔を多くの人に見てもらい、すばらしさを知ってほしい。だから無料で見られるようにしている。しかし、そうすると修理するお金が足りないという問題が起こる」と言っているよ。瑠璃光寺五重塔を残すことは本当に難しい問題なのだね。このまま何もしなかったら、瑠璃光寺五重塔は残せないかもしれないのかもしれない。どうしたらよいのだろう。 瑠璃光寺五重塔を残すことは難しい問題だと分かったよ。自分たちにはできないことはないかな。瑠璃光寺五重塔のすばらしさを知ってもらうことが残すことにつながると観光ボランティアさんや文化財保護課の河崎さんが言っていたよ。家族に瑠璃光寺五重塔のすばらしさを知ってもらうことならできそうだね。瑠璃光寺五重塔にあった募金箱に募金することもできると言っている人もいるよ。そうか。そういう方法もあるのか。自分たちにはできることを考えることは、誰のためになるのかな。瑠璃光寺五重塔を残したいと考える人たちのためだよ。瑠璃光寺五重塔を残したいのは、自分たちも同じだ。瑠璃光寺五重塔を残すために自分たちにはできることを考えることは、自分たちのためになることなのだね。
<p>第3次 古い年中行事と自分たちとの関わり方について考える 3M (1時間)</p>	
<p>学習内容 ・社会的事象と自分たちとの関わり方 (思) ・学習したことを社会生活に生かそうとする態度 (態)</p>	
<p>□古い年中行事と自分たちとの関わり方について考える (3M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちにはできることを考えることは、瑠璃光寺五重塔の場合だけなのかな。山口市に古くから伝わる「山口七夕ちょうちん祭り」でも同じように考えてみよう。「参加する」ことなら自分にもできるよ。「友だちや家族など多くの人を誘う」こともできる。今まで行ったことがなかったけれど、来年は行ってみようかな。瑠璃光寺五重塔の場合と同じように「残す取組をしている人の話を聞く」こともよいのではないかな。「山口七夕ちょうちん祭り」でも、自分たちにもできることはあったぞ。自分にできることをこれからも考えていきたいな。

